



○令和 7 年度 都漁連通常総会を開催

6 月 25 日、都漁連水産会館において通常総会を開催しました。「令和 6 年度事業報告他」(第 1 号議案)、「令和 7 年度事業計画」(第 2 号議案)など提案された全 6 議案が可決されました。

【事業報告関係】

令和 6 年度の経営状況は、燃油等を取り扱う購買事業、水産物の買取・受託販売を取り扱う販売事業、水産会館等の貸室事業などが会員の協力により計画どおり推移した。老朽化に伴う施設整備費が嵩みましたが、各種経費の削減に努め、結果 200 万円余りの当期剰余金を計上することとなりました。

購買事業については、員外燃油が減少し、4,778k1 と前年 (5,158k1) より 380k1 減、取扱金額も 15,936 千円減の 660,892 千円でした。漁業用資材・氷等の取扱金額は、66,194 千円で前年度と比較して 9,977 千円の増でした。

販売事業については、冷凍・加工や未開発市場への販路開拓等に努めたが、令和 5 年度の前平均単価 1,531 円に対し、令和 6 年度は 1,486 円と 2.9%の減少となりました。水産物取扱実績は、数量が 1,042t で前年 (980t) と比べて 6.3%の増加、金額は 15 億 4,802 円で 3.1%の増加となりました。

取扱量が多かった水産物は、キンメダイが 414.7t で鮮魚全体の 50.0%を占めており、次いでハマダイが 81.7t、キハダが 77.9t、カツオが 52.7t となっています。クロマグロの漁獲量については、令和 5 年度の 28.9t に対し、35.6t (23.1%増) でしたが、資源回復での漁獲枠の増大と全国的な好漁などで、単価が 3,392 円と前年 (3,893 円) と比較して 12.8%減となりました。

○会員漁協が通常総会を開催

3 月決算の組合が通常総会を開催しました。

◆開催期日

6 月 9 日 小笠原母島 6 月 11 日 佃島
6 月 17 日 中央隅田 6 月 18 日 芝
6 月 19 日 東京東部 6 月 20 日 大田
6 月 24 日 港 6 月 26 日 伊豆大島
6 月 30 日 御蔵島村 6 月 30 日 八丈島

○黒潮大蛇行が終息する兆し

2017 年 8 月から過去最長 7 年 9 か月続いていた紀伊半島から東海沖の黒潮大蛇行は、5 月 8 日現在みられなくなり、この状態が持続して大蛇行が終息する兆しがあることが気象庁より発表されました。黒潮の流路は、船舶の運航や、魚種・漁場の位置、沿岸の海洋環境等にも影響を与えるので、注意を呼び掛けています。



気象庁 HP



海上保安庁 HP

○令和 6 年度水産白書を公表

6 月 6 日、「令和 6 年度水産白書」が公表されました。

今回の白書では、「海洋環境の変化による水産業への影響と対応」を特集として取り上げているほか、トピックスとして令和 6 年能登半島地震からの復旧に向けた動き、漁業法及び水産流通適正化法の一部改正、赤潮による被害の継続の 3 つを記述しています。



水産庁 HP

○流通センター取扱実績報告（4－6 月期）

4－6 月期	令和 7 年度			令和 6 年度			備 考
魚種	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (A)	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (B)	前年差(円) A-B=C
							単価前年比
							(%)
							A/B*100
キンメダイ	141.5	222.3	1,571	150.9	234.0	1,550	21 101.4
メダイ	9.3	5.9	632	24.1	13.2	547	85 115.5
キハダ	36.9	20.8	565	26.6	15.8	593	-28 95.2
オナガ	34.5	46.8	1,358	26.8	37.7	1,406	-48 96.6
ムツ	1.5	4.2	2,773	8.9	20.9	2,348	425 118.1
その他	99.9	80.2	802	127.2	88.9	698	104 114.9
合 計	323.6	380.2	—	364.5	410.5	—	—

《編集・発行》 都漁連指導室

TEL 03-3458-4236

e-mail shidoo@tokyo-gyoren.or.jp